

# あんどくりすの防災四季だより

第16回 放送日：2019.7.19（金）

パーソナリティー：あんどくりす

ゲスト：サニー カミヤ さん

テーマ：ペットと防災 その2



「命を守る」という大切なことに役立つのは、  
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、  
防災・減災の方法を楽しく導きます。

元国際緊急救助隊レスキュー隊員に聞く

ペットと一緒に避難するために  
実際の準備や行動は？





先週に引き続き

一般社団法人  
日本防災教育訓練センター  
代表理事、

ペットセーバーのサニー・カミヤさん  
にお出でいただいています。

先週は、ペットと避難所のお話でしたね。

避難所に  
行くのはなかなか大変だよ、  
行政によって方針が違うよ。  
といったことをお聞きしました。



# 避難生活への準備

今回は、  
ペットと一緒に避難できるとして、

実際どのように避難したら良いか？  
などについてお聞かせいただけますでしょうか？

サニーさんよろしくお願いします。



よろしくお願いします。

避難生活の、まずはその準備ですね。



# 持ち物など

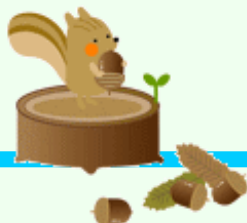
① 普段ペットを飼っていて必要な食糧や生活グッズ。避難所の状況にもよりますが、最低3日から1週間分くらいを用意してください。

② どのようにして連れていくのかを考えてください。ペットはキャリーケースに入れて運ぶのか、抱いていくのかなど。

キャリーケースならば、実際に入れて運んでみてください。

③ 忘れてはいけない大切な事柄を、1枚の紙にまとめておくと良いですよ。

- ・狂犬病などのワクチン接種履歴などの法的な事
- ・マイクロチップの番号
- ・ペットの写真など





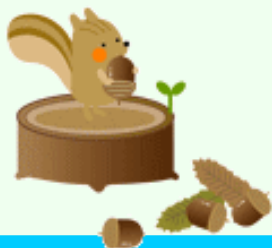
連れて行ったペットが、  
もしも逃げ出してはぐれてしまった時などに、

写真や情報をまとめた物があると役立ちます。  
探すときの目安にもなるし、見つかった時には、  
特定ができます。

ペットが入所するときに  
法的な義務を果たしている、伝染病などは持っ  
ていない。  
などという証のようなものが無いと、  
そもそも避難所の管理施設に預かってもらえな  
い事があります。  
しっかりと準備なさってください。

その次に必要なのは、  
そのペットがてんかんなどの持病を持っている  
などで、

④投薬している場合、そのお薬ですね。



# 体調管理

お薬は、大事ですね。  
人と同じですよ。



はい、そうです。

生活環境が変わると、  
ペットもストレスがすごく溜まってきます。

てんかんの症状などが、  
普段よりひどくなるというようなこともあります。

胃腸、内蔵系の病気なども、ストレスが引き金に  
なります。

とくに便秘が多いようです。  
これは、私たちも同じですね。





野菜を乾燥させたドライベジタブルや、  
干びょうのような乾物を用意してください。

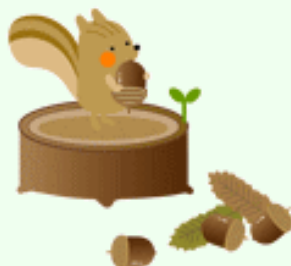
そのような食物繊維類を与えて  
便秘の解消をうながすと良いでしょう。

ペットの防災については、  
過去の経験から、  
そういう事もだんだん言われ出していますね。



あ、なるほど～

便秘対策に干びょうは、考えたことがなかつ  
たですね。(笑)



# どうやって連れていく？

避難するときには、キャリーバッグなどに入れて。  
という事ですが、  
それに慣れていないワンちゃん・猫ちゃんやペット  
の子がいたら、やっぱり大変です。

普段から慣れさせておかないといけないですよ？



はいそうです。

持ち運びしやすい、ケージとかキャリーケースに、  
いかに簡単に入れてもらうか！？

その訓練をしておきましょう。







# 呼び寄せる

ワンちゃん猫ちゃんが親しんでいるタオルなどを  
持っていくと良いと言われますね。

猫ちゃん達は、呼んだところで、すぐ来る子もい  
ますけれども、なかなか来ない子もいますが…。



猫は、やっぱり難しい。  
呼び寄せ訓練をうまくしておかないといけません。

うちにも2匹いるのですが、  
地震があるともう、どこかへ行って消えちゃう。(笑)  
そこから呼び出すのが大変です。

普段からどこに逃げ隠れしているのかを知って、  
どうやったら呼びもどせるか？ を探っておいてくだ  
さい。

ちょっと匂いが強い、好きな餌とかを使ってね。



がんばって訓練しないと！  
という感じなんですね？



そうですね はい。  
そこは飼い主の努力ですね。

ただ、遊びながらやると結構楽しいですよ。

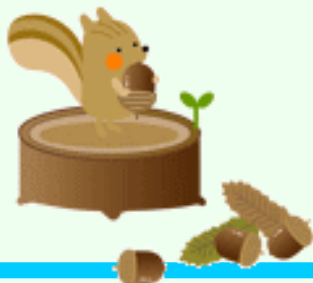
猫の躰トレーナーの方にお会いしましたら、  
いろんな芸をさせたりして訓練していました。

バーン！ というと転ぶとか



あははは  
バーンで転ぶ！？ ワンちゃんのように？  
ねこさんも大変ですね。

餌をもらうために、頑張っってケージの中に入ったりしてくれるというわけですね。



# 洗濯ネットの使い方

私、動物病院でアルバイトをしたことがありました。

猫は、注射を打つときにあばれる子とか連れてくる途中で逃げちゃう子がいるんです。その時は、「洗濯ネット」に入れて持ってきて下さいと言っていたんです。

それも割と使えますよね？

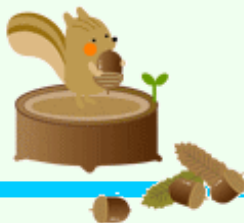


そうですね。

100円ショップなどで売っているもので良いので、メッシュがより細かいものを使ってください。

ケージの中が安心な子、不安な子がいるので、試してみるのも良いですね。

普段の生活のなかで、それぞれのトレーニングをうまくやっていくと良いと思います。



自ら入ってくれる子だったらいいですね。  
かごの中に入る感じで、ネットが好き♡  
みたいな子ならば良いですが、  
なかなか うふふふ



洗濯ネットにうまく入れるには、やり方があります。

まず裏返しにしておいて  
手をネットの一番底まで入れて。底の真ん中  
ですね。

手にすっぽりかぶせるという感じです。

右利きの方は、猫を左手で抱いておいて、

洗濯ネットごと右手で首を捕まえて、  
素早く袋をひっくり返して  
素早くチャックを閉める！

ただ猫はものすごくひっかくので、結構バリバリになります。



# スリングの使い方

うちではチワワを3匹飼っていましたが、  
疲れやすい子が1匹いたので、斜め掛けのス  
リングを使っていました。

「散歩イヤダー！」となった時に、すぐに  
抱っこできるスリングが役に立ちましたよ。

スリングがあれば暖かいですし、  
顔が近づきますので、優しく声かけもできます。

それはとても大事なことです。

やはりペットも【心】が大切ということ  
ですね。

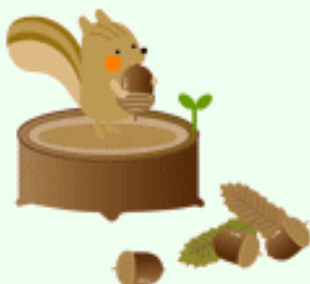




サニーさん、  
今回もありがとうございました。

サニーさんのお話、まだまだお聞きしたい  
と思います。

また来週も、よろしくお願ひします。



(TEXT/はしも)